京都フィルハーモニー室内合奏団　室内楽シリーズ vol.35

第 283 回
定期公演
B

知られざる テレマンの 魅力に酔いしれて

～ 癒しのバロック音楽と共に ～



バッハより有名だった作曲家がいた。

―――― その名は、テレマン。

バッハやヘンデルと同時代を生き、18 世紀のヨーロッパで絶大な人気を誇った作曲家、ゲオルク・フィリップ・テレマン。当時のドイツでは、実はバッハ以上ともいえる人気と名声を誇り、ヨーロッパ各地でその作品が演奏されていた。親しみやすく美しい旋律、華やかな響き、軽やかなユーモア――その音楽は、聴く人を楽しませる魅力にあふれている。本公演では《食卓の音楽》やヴィオラ協奏曲などを通して、時代を魅了したテレマンの多彩な音楽世界に迫る。

ヨーロッパ中で
大ヒットした
予約出版の名曲を
中心にお届け！

- 食卓の音楽 第一集より 1 番 コンチェルト イ長調 TWV53:A2
- 食卓の音楽 第一集より 4 番 トリオソナタ 変ホ長調 TWV42:Es1
- ヴィオラコンチェルト ト長調 TWV51:G9
- 食卓の音楽 第二集より 6 番 終曲 ニ長調 TWV50:9

2026 12.12 (土)　14:00 開演（13:30 開場）

京都文化博物館 別館ホール

地下鉄「烏丸御池駅」下車 5 番出口より徒歩約 3 分
阪急「烏丸駅」下車 16 番出口より徒歩約 7 分

全席自由

一般	¥2,000	※当日券は左記料金に＋500 円
ユース (25歳以下・要証明書)	¥1,000	※未就学児のお子様のご入場はご遠慮ください

お申込み

電子チケット Teket
電子ケットはスマートフォンで表示でき、紙チケットは不要です。
「Teket」会員登録が必要です。

公式ホームページから
公演ページよりお申込みください。折り返しメールでご案内をお送り致します。

teket

お電話から 京フィルチケットセンター
075-950-1451（平日11:00-17:00）
※ 公演の状況により、平日不在の場合もございます。ご理解賜りますよう宜しくお願い致します。

会員様 ホームページ・お電話・E メールからお知らせください。

公式ホームページ

協賛：株式会社ロジスネクスト Logisnext
株式会社信州テクトホームサービス
助成：公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション
芸術文化振興基金

食卓の音楽とは？

晩餐会にはなくてはならない存在！



「食卓の音楽」とは、18 世紀、宮廷や裕福な人々の晩餐会で、料理や会話を楽しむ時に聴く音楽。そんな「食卓の音楽」の伝統から生まれたのが、テレマンの《食卓の音楽》である。1733 年に出版されたこの作品は、3 つのまとまりに分かれ、それぞれに序曲、四重奏曲、協奏曲、三重奏曲、独奏曲、終曲という 6 曲、全部で 18 曲が収められている。面白いのは、曲が進むたびに、聴こえてくる音楽の表情がどんどん変わっていくこと。華やかな合奏があったかと思えば、少人数の楽器が楽しそうに会話を始める。優雅な曲もあれば、踊り出したくなるような曲もある。まるで、料理が一品ずつ運ばれてくるように、次々と違った音楽が登場する。

商才もあった！テレマン

あのヘンデルも購入！



テレマンは自分の音楽をどうやって人に届けるかを考える人だった。当時、楽譜を印刷するにはかなりのお金がかかった。そこでテレマンは、作品を出版する前に「この曲集が欲しい人はいませんか？」と予約を募る方法を取り入れた。出版する前から予約を受け付け、集まった注文をもとに楽譜を印刷したのである。その結果、185人から206部もの予約が集まった。ドイツ、デンマーク、イギリス、フランス、オランダ、ノルウェー、スペイン、スウェーデンなど、ヨーロッパ各地から注文が寄せられた。テレマンは、今でいうなら作曲家でありながら、プロデューサーや出版人のような仕事まで自分でこなしていたのである。《食卓の音楽》の大成功は、テレマンの音楽そのものの魅力に加えて、「自分の音楽をたくさんの人に届けたい」というテレマンの工夫があったからこそ生まれたものだった。

「ごちゃまぜ」が面白い！

まるで音楽の百科事典！



テレマンの《食卓の音楽》にはとにかく楽しい音楽が次々と出てくる。大きな編成で華やかに始まったかと思えば、次は少人数の楽器による親密な音楽へ。そして協奏曲になったり、ソロの楽器が活躍したりと、曲ごとに景色が変わっていく。テレマンは、当時ヨーロッパで親しまれていたさまざまなスタイルを取り入れている。前菜からメイン料理、デザートへと進むように、音楽も次々と表情を変えていく。どの曲もそれぞれに魅力があり、一つの曲集の中でいろいろな味わいを楽しむことができる。しかも、それは決して難しく構えた音楽ではない。軽やかに踊るようなところもあれば、楽器同士が楽しそうに語り合うようなところもある。「音楽を聴く」というより、「音楽の食卓を楽しむ」。そんな気持ちで耳を傾けてみると、300 年近く前にテレマンが用意した、とびきり贅沢な音楽の宴が、今も生き生きと感じられるはずだ。

公演案内 *Performance information*

2026 年 12 月 6 日（日）
『ちびっこクリスマス』
① 11：00 開演　② 14：00 開演
会場：野洲文化小劇場

- ◆ モーツァルト / そりすべり
- ◆ ワルトトイフェル / スケーターズワルツ
- ◆ あわてんぼうのサンタクロース
- ◆ サンタが街にやってくる　ほか

2027 年 2 月 13 日（土）
第 285 回定期公演 B
『ブラームス　二つの三重奏曲』
14：00 開演 (13：30 開場)
会場：京都文化博物館　別館ホール

- ◆ ホルン三重奏曲　変ホ長調　作品 40
- ◆ クラリネット三重奏曲　イ短調　作品 114

2027 年 1 月 24 日（日）
第 284 回定期公演 A
『ニューイヤーコンサート』
14：00 開演 (13：30 開場)
会場：京都府立府民ホール　アルティ

- ◆ J．シュトラウスⅡ /「美しき青きドナウ」
- ◆ J．シュトラウスⅡ / オペラ「こうもり」より「伯爵様あなたというお方は」
- ◆ レハール /「メリーウイドゥ」より　ほか



演奏

京都フィルハーモニー室内合奏団

1972 年に結成。本年創立 54 年目を歩む。「クオリティは高く、ステージは楽しく」というポリシーを持った京フィルは、クラシック音楽の他に狂言等の日本の伝統芸能とのコラボレーションや、ポップス歌手等の異分野との共演も積極的におこない“挑戦する室内オーケストラ”と大好評を博している。また未来の聴衆を育む活動では延べ 3,000 校、200 万人以上の子どもたちに楽しい音楽を届け続けている。1990 年度の藤堂音楽賞受賞をはじめ受賞多数。現在ミュージックパートナーとして柳澤寿男氏を迎えている。

｜お問い合わせ｜ 京都フィルハーモニー室内合奏団　TEL.075-950-2770　京都市右京区西院東貝川町 5-1　エルハウジングビル 205
E-MAIL / ticket@kyophil.com　公式サイト / https://kyophil.com/